

# 内子

## ものがたり

### ◎第四話 尾首城址

#### 語り部 宮田 浩志さん(立石)

尾首城址は立石の中央に位置する尾首地区にあり、天文年間(1532~1554年)に造られた山城の跡です。当時の城主は、大野加賀守直義。久万大除城主大野氏の家来で、立石と田渡を治め

ていました。「天文3年(1534年)2月10日立石加賀守大野直義等浮穴郡中田渡八幡大菩薩社を建立、立石大野加賀守大伴直義と棟札に記す」と小田町歴史年表に記されています。

この城跡は標高393mにあり、城址の裏には「からぼり」があつて敵の侵入を防いでいました。天正14年(1586年)に笹ヶ峠を越えてきた長曾我部軍によって滅ぼされたといわれています。城址は三段になっていて上部二段の平地の広さは1748㎡。上段の中央に石垣があり何を意味するのか不明でしたが、平成18年11月12日に森光晴愛媛考古学協会長を迎えて開いた講演会の際に尋ねると、「尾首城址からは赤岩城址(寺村)、太田城址(小田)、野村城址(本川)、日野城址(小田)、中川城址(中川)、登議城址(吉野川)、笹ヶ峠城址(寺村)が見えるので、仲間に信号を送るため、この石垣の上で杉や松など樹木の葉を燃やして狼煙を上げていたのだろう」ということでした。現在の通信手段よりも早く伝えることができ、確かな通信網ができていたと考えられています。どのように伝達できるのか、城址間の実証をしたいものです。



1 尾首城址 2 武士たちの魂を祭る武将塚 3 狼煙を上げていた石垣を説明する宮田さん 4 池の奥の右側にあるのが尾首城址

### 編集辛記

表紙の写真  
7月23日、五十崎中学校プールで開かれた内子町小学校水泳大会。今年度から町内すべての小学校合同での開催となりました。  
写真は女子100m平泳ぎに出場した井伊麻夢さん(内子小)㊤と武田真由さん(立川小)㊦。

今号のうちこ往來の取材で、初めてオリンピック出場選手にお会いしました。やはり、何かエネルギーが違いました。パワーがある人に出会うと、自分も少し充電されたような気がして、やる気がわいてきます。これで暑い夏も大丈夫!(み)

取材で初めて訪れた尾首の池。近づくともいそがしみに、水面から顔を出してきました。パンを与えると、仲間を踏み台にして食らいつくのもいて、一瞬で完食。ピラニアのような迫力で、わたしも大満足。一見の価値あります。新たなコミュニティビジネスの予感が、会長、ご案内ありがとうございます。(光)

### 内子分庁

〒791-3392

内子町内子 1515番地

電話(0893)44-2112(代)

FAX(0893)44-6135(代)

### 小田支所

〒791-3592

内子町小田 81番地

電話(0892)52-3111(代)

FAX(0892)52-2303(代)

### 編集：広報うちこ編集委員会

広報うちこは環境にやさしい「大豆インク」を使用しています。